



DAIKAN

Company Profile

50 
50th ANNIVERSARY

処理がつくる、
未来がある。

会社情報

経営理念 | 環境にやさしい処理を行う

基本理念 | 株式会社ダイカンでは産業廃棄物処理技術の高度化を図り、より高いレベルの適正処理を実践致します。そして、地域社会との環境交流を行いながら、循環型社会の実現に向けたリサイクルを推進し、環境保全活動を進めてまいります。

会社概要 | 商号 株式会社 ダイカン

本社/本社工場 〒538-0037 大阪市鶴見区焼野3丁目2番79号
TEL:06-6913-2222(代) FAX:06-6913-8661

堺事業所 〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町3丁31番地
TEL:072-245-1851(代) FAX:072-245-1410

三田事業所 〒669-1339 兵庫県三田市テクノパーク21番6号
TEL:079-560-0666 FAX:079-560-0660

東京オフィス 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目18番6号
クロスオフィス内幸町1402号室
TEL:03-5860-9445 FAX:03-5860-9446

設立 1974年3月

資本金 4,800万円

従業員 195名(2022年11月11日現在)

役員
代表取締役会長 吉村 久美
代表取締役社長 吉村 太郎
監査役 土井 強
顧問 福部 忠
執行役員 村田 泰嗣
新田 恭之

主要取引銀行 三菱UFJ銀行 守口支店 三井住友銀行 門真支店
りそな銀行 守口支店 みずほ銀行 天満橋支店 福邦銀行 大阪支店



未来は、突然やってはこない。

今を積み重ねた先にある。

遠くに広がる大自然は、自分が住む街と地続きだ。

だからまず、やるべきことを、

まじめに、きちんと、全力で。

よりよい処理は、よりよい未来をつれてくる。

“産廃”を扱うプロだから、できる仕事がある。

地域の産業と環境を、さあ今日も、一歩前へ。



・ダイカンについて> 03-06

・ブランドフロー> 07-12

・窒素パーズ破碎機> 13

・サポート/サービス> 14-15

・危険物のご案内> 16

・環境保全活動> 17

・トップメッセージ> 18



優良産廃処理業者認定

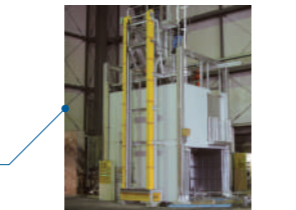
2011年6月より取得。処分・収集運搬ともに取得済。

ダイカンについて

沿革 | 50年の歩み

1970

- 昭和49年 3月 株式会社大阪環境処理センターを設立し、産業廃棄物処理業を開始
- 昭和49年 9月 **本社焼却工場完成**
- 昭和61年 1月 本社工場に選別施設設置
- 昭和61年12月 堺事業所設立
- 昭和63年 5月 本社新社屋完成
- 平成元年 8月 **堺事業所焼却工場完成**
- 平成 4年 1月 株式会社ダイカンに商号変更
- 平成 4年 3月 堺事業所に選別工場完成
- 平成11年 5月 国際環境規格ISO14001の認証登録を取得
- 平成11年 6月 **本社新焼却炉完成**
- 平成15年 5月 堺事業所に2軸せん断式破碎機設置
- 平成17年 8月 堺事業所排水処理装置改良工事完成
- 平成22年10月 大阪市産業廃棄物処分業の処分方法に『破碎・切断』を追加取得
- 平成22年10月 廃プラスチック燃料化促進のため破碎機導入
- 平成23年 6月 全行政にて優良産廃処理業者認定制度取得
- 平成25年 5月 **堺事業所新焼却工場完成**
- 平成25年 6月 堺事業所焼却炉 再生可能エネルギー発電設備の認定を受ける
- 平成26年 4月 **本社工場にて窒素パージ破碎機設備設置
スプレー・乾電池・ライターの処理受入スタート**
- 令和元年12月 東京オフィス開設
- 令和 4年 2月 **堺事業所にて窒素パージ破碎機設備設置
スプレー缶・カセットガス缶の処理受入スタート**
- 令和 5年 1月 堺事業所にて廃棄物熱回収施設設置者認定取得
- 令和 5年 3月 会社設立50周年を迎える
- 令和 5年 7月 三田事業所 兵庫県より産業廃棄物処分業許可『破碎』取得
- 令和 5年 7月 **三田事業所破碎選別工場竣工**



事業所のご案内



〒538-0037
大阪市鶴見区焼野3丁目2番79号
TEL:06-6913-2222(代)
FAX:06-6913-8661

[交通アクセス]
門真IC(近畿自動車道)より車で1分
門真市駅(京阪)より車で5分
鶴見緑地駅(地下鉄)より車で3分



〒592-8331
大阪府堺市西区築港新町3丁目31番地
TEL:072-245-1851(代)
FAX:072-245-1410

[交通アクセス]
出島IC(阪神高速)より車で10分
石津川駅(南海)より車で10分



〒669-1339
兵庫県三田市テクノパーク21番6号
TEL:079-560-0666
FAX:079-560-0660

[交通アクセス]
三田西IC(舞鶴若狹道)より車で2分
新三田駅(JR)より車で15分



〒105-0003
東京都港区西新橋1丁目18番6号
クロスオフィス内幸町1402号室
TEL:03-5860-9445
FAX:03-5860-9446

[交通アクセス]
内幸町駅(東京メトロ)より徒歩3分
新橋駅(JR)より徒歩10分

許可品目

▶ 本社工場【焼却 240t/日 選別 800t/日 破碎 4.5t/日】

産業廃棄物	処分方法	処理能力	種類数	種類
	焼却	240t/日 (120t/日×2炉)	14種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系不要固形物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類(汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリが付着したものに限る)
特別管理産業廃棄物	選別	800t/日	8種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類
	破碎 (窒素パージ破碎機)	4.5t/日	2種類	廃プラスチック類、金属くず
特別管理産業廃棄物	焼却	61t/日	4種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ ※詳細は許可証をご参照ください。

▶ 堺事業所【焼却 240t/日 選別 1,000t/日 破碎 6.94t/日】

産業廃棄物	処分方法	処理能力	種類数	種類
	焼却	240t/日 (120t/日×2炉)	13種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系不要固形物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず
特別管理産業廃棄物	選別	1,000t/日	8種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類
	破碎 (窒素パージ破碎機)	6.94t/日	2種類	廃プラスチック類、金属くず
特別管理産業廃棄物	焼却	240t/日	2種類	廃酸、廃アルカリ ※詳細は許可証をご参照ください。

▶ 三田事業所【破碎 240t/日】

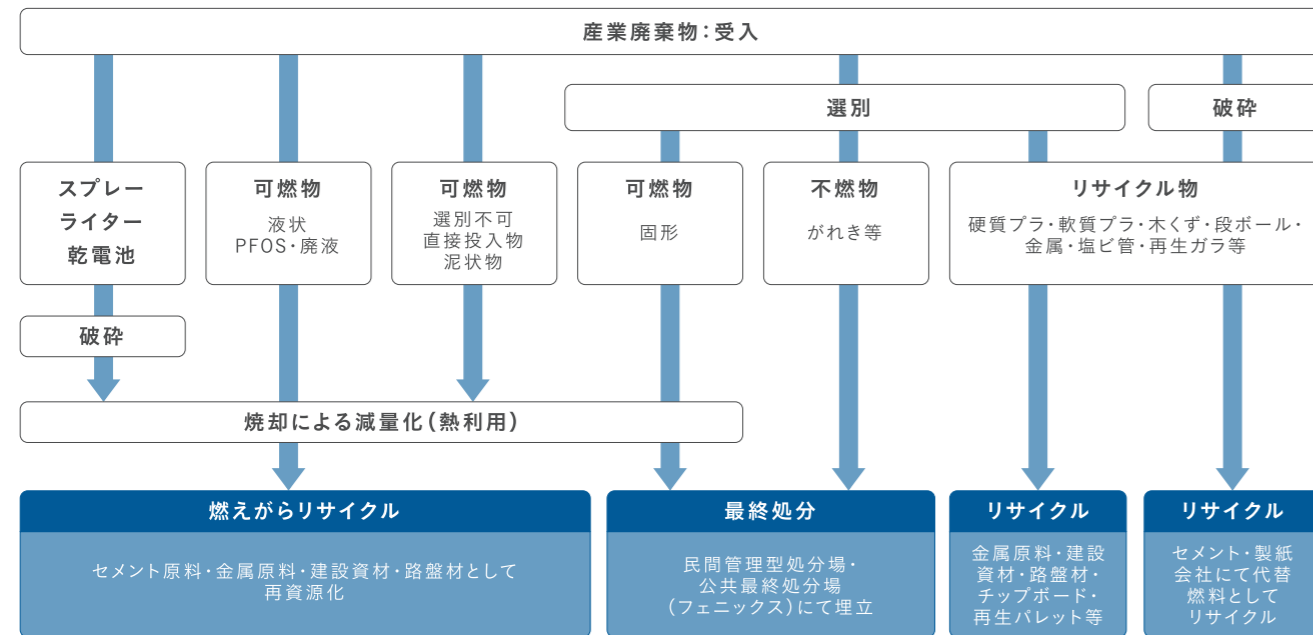
産業廃棄物	処分方法	処理能力	種類数	種類
産業廃棄物	破碎	240t/日	8種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類 ※詳細は許可証をご参照ください。

2023

ダイカンについて

選別・焼却による中間処理から、燃えがらの再資源化まで、
安心で安全な処理フローで適正処理を行っています。

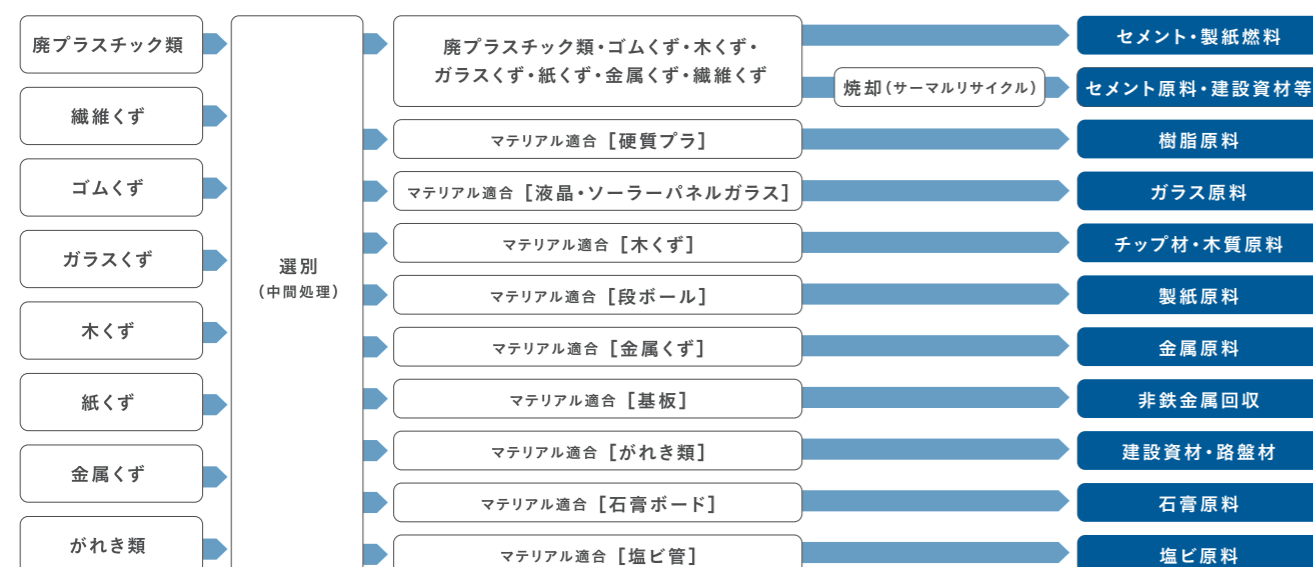
ダイカン全社廃棄物処理フロー



再資源化の取り組み

搬入された産業廃棄物を可燃物・不燃物・再生物に選別し、マテリアルリサイクル率の向上に取り組んでいます。

選別マテリアルリサイクルフロー



透明性の高い適正処理を実現するための取り組み

大型焼却炉の保有



処理能力240t/日の大型焼却炉を大阪府下に2拠点にて保有。
安定的に排出事業者様の廃棄物をお受けすることが可能です。

常時対応可能な工場見学の実施



工場見学については排出事業者様の環境監査を含め、常時
対応しております。お越し頂いた際は、場内を一望できる展望室
から作業状況をご確認頂けます。

施設内のセキュリティ管理



工場場内や事務所内には、24時間対応の監視カメラを設置
しており、セキュリティ面も安心です。

廃棄物の分析管理



高度な装置を備えた分析課により、搬入予定の廃棄物サンプル
および搬出される燃えがら・灰じん等の廃棄物の分析を日々
行い、安全で適正な処理に努めています。

機密性の高い廃棄物にも対応

食品・日用雑貨・製薬メーカー等より発生する製品廃棄や
その他、機密性の高い廃棄物の処理について、保管をする
事なく即時処理によりセキュリティを担保した処理を行え、
要望に応じて立会い処理等も可能です。遠方のお客様には、
リモートによるオンライン立会いにも対応します。

情報開示

会社情報、取得している許可の内容、産業廃棄物の処理状況、
施設の維持管理状況など産業廃棄物の処理に関係の深い
情報を産廃情報ネットで広く公表しております。

プラントフロー

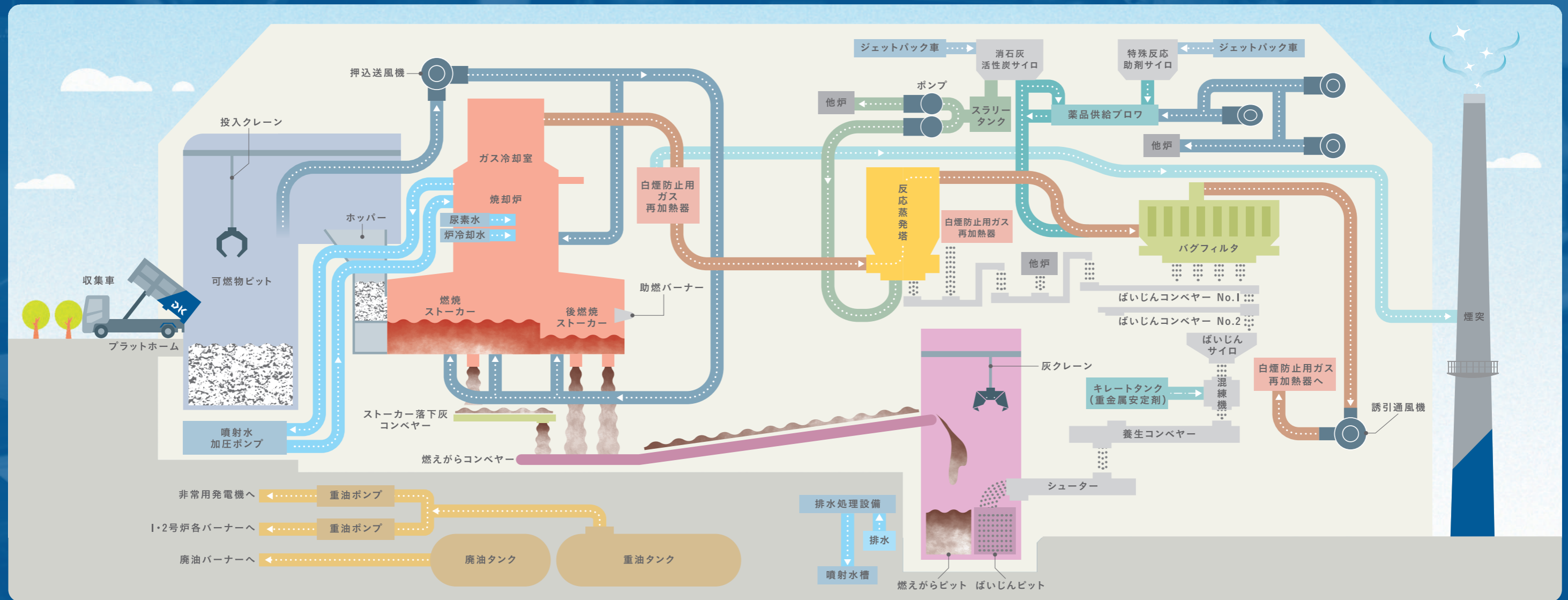
本社工場プラントフロー

大阪市鶴見区に立地する、全国有数の都市型焼却処理プラント。景観維持、周辺環境保全の観点からあらゆる領域で環境負荷の低減に取り組んでいます。処理能力は、120t/日×2炉で計240t/日です。焼却時の余熱を使って処理済みの排ガスを再加熱し、周辺環境に配慮した排煙を行っています。



▶ 本社工場 [焼却 240t/日 選別 800t/日 破碎 4.5t/日]

	処分方法	処理能力	種類数	種類
産業廃棄物	焼却	240t/日 (120t/日×2炉)	14種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系不要固形物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類(汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリが付着したものに限り)
	選別	800t/日	8種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類
	破碎 (窒素パージ破碎機)	4.5t/日	2種類	廃プラスチック類、金属くず
特別管理産業廃棄物	焼却	61t/日	4種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ ※詳細は許可証をご参照ください。



PFOS含有廃棄物の処理

本社工場の焼却炉はストックホルム条約 (POPs条約) で指定されている化学物質PFOS含有廃棄物 (固形物・液状物) を安全に分解処理できる確認を環境省及び大阪市より受けています。



バキューム車両での搬入



ドラム等専用容器での搬入

処理困難物の受入れ

複合廃棄物・スプリングマットレス・漁網などの処理困難物にも対応可能です。

窒素パージ破碎機

窒素パージ破碎機により、通常では処理が困難な中身入りスプレー缶・カセットガス・乾電池類及びライターを安全に処理し、可燃性ガスは大気に放出せずに焼却炉に吸引し、焼却処理を行います。



プラントフロー

堺事業所プラントフロー

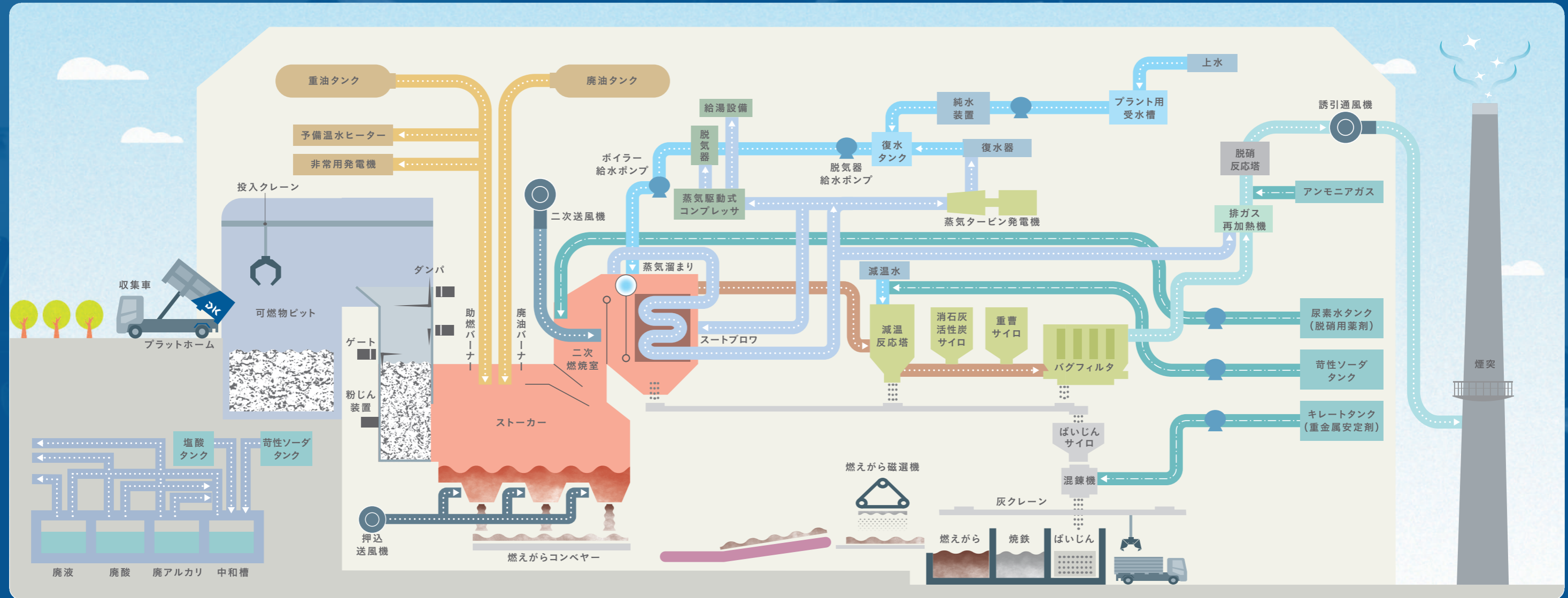
堺市の臨海工業地帯に立地する、サーマルリサイクルシステムを備えた最先端プラント。処理能力は120t/日×2炉で計240t/日。焼却熱を利用して発電しています。

※環境省が定める「廃棄物熱回収施設設置者認定」を2023年1月に取得。



▶ 堺事業所 [焼却 240t/日 選別 1,000t/日 破碎 6.94t/日]

	処分方法	処理能力	種類数	種類
産業廃棄物	焼却	240t/日 (120t/日×2炉)	13種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系不要固形物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず
	選別	1,000t/日	8種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類
	破碎 (窒素パージ破碎機)	6.94t/日	2種類	廃プラスチック類、金属くず
特別管理産業廃棄物	焼却	240t/日	2種類	廃酸、廃アルカリ ※詳細は許可証をご参照ください。



発電によるサーマルリサイクル

堺事業所では3,300kWhのタービン発電機を設置しており、焼却時の余熱を利用し自家発電を行っています。発電した電力は堺事業所で使用し、余剰電力は電力会社に売電を行い、CO₂の削減にも貢献しています。



処理困難物の受入れ

複合廃棄物・スプリングマットレス・漁網などの処理困難物にも対応可能です。

窒素パージ破碎機

災害備蓄品として保管されている使用期限が過ぎたカセットガス缶を処理することができます。中身入りスプレー缶に含まれている可燃性ガスは、大気に放出せず併設している排ガス燃焼装置で燃焼処理を行います。



プラントフロー

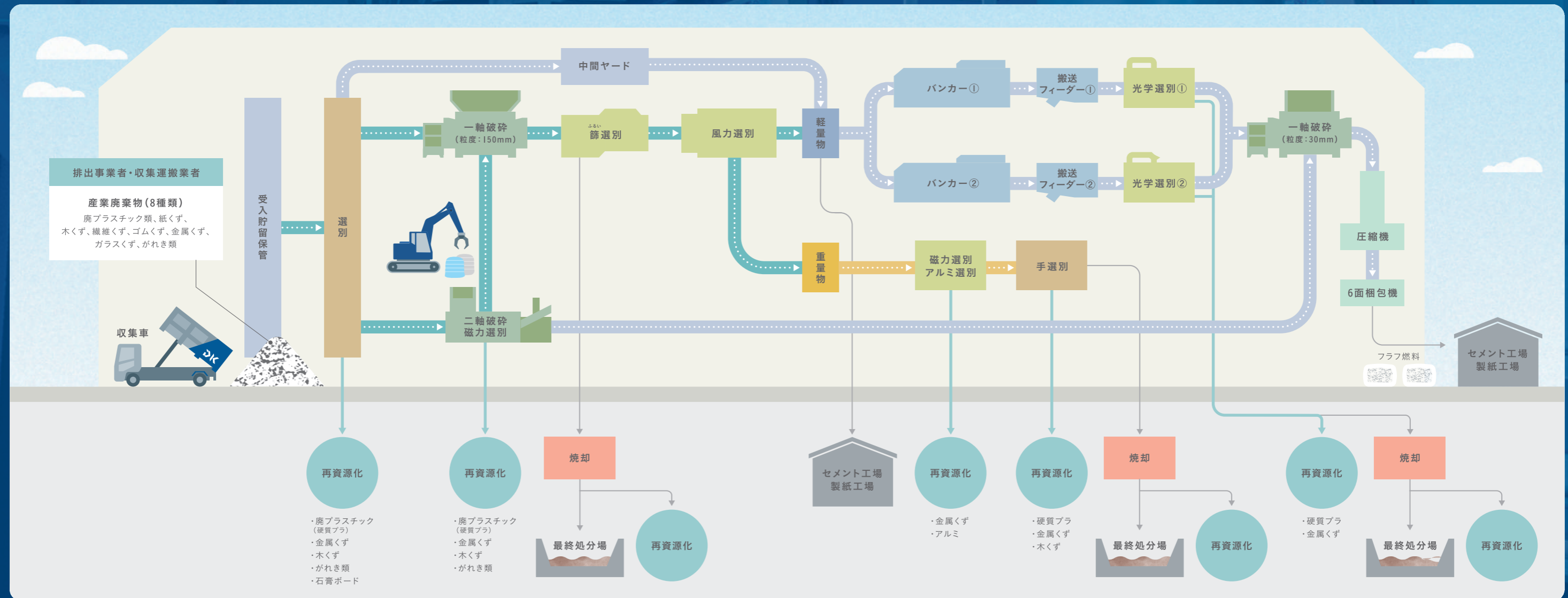
三田事業所プラントフロー

排出事業者様のリサイクルニーズにお応えするため、兵庫県三田市に処理能力240t/日を有する破碎選別処理施設を新設。中間処理後の主な残渣物はフラフ燃料としてセメント・製紙会社に代替燃料として搬出しています。



● 三田事業所 [破碎 240t/日]

	処分方法	処理能力	種類数	種類
産業廃棄物	破碎	240t/日	8種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類 ※詳細は許可証をご参照ください。



リサイクル率の向上にむけて

最新の光学選別機を導入し、塩素系廃棄物の除去のみならず、特定の物性の選別が可能となり、再資源化施設としてマテリアル・ケミカルリサイクルの可能性を追求します。

処理困難物への対応

一般的な破碎機と比べ、より性能が高い一軸破碎機を設置。ロール品・スプリングマットレスなどの処理困難物にも対応可能です。

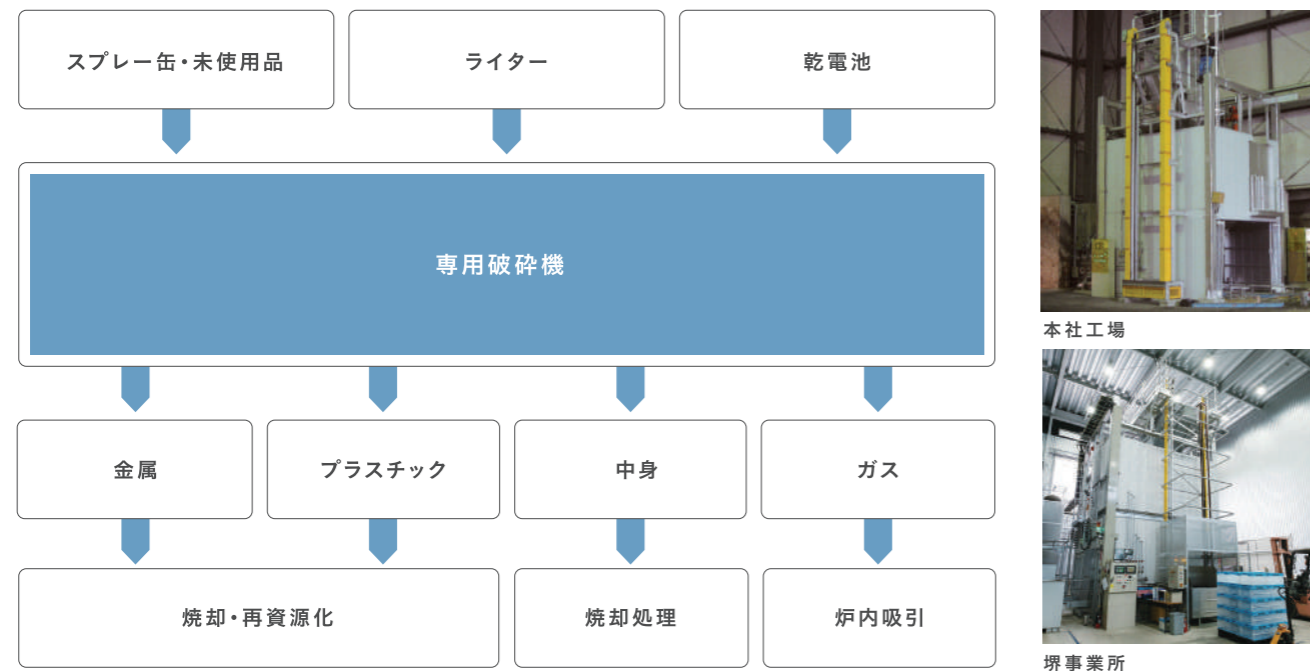
フラフ燃料について

廃プラスチックを主性としてセメント・製紙会社様にキルンやボイラー燃料の代替燃料として使用されます。化石燃料の代替として使用することで、CO₂排出量の削減にも貢献します。



窒素パージ破碎機 (本社工場・堺事業所)

スプレー缶・乾電池・ライターを安全に処理するために研究・開発を行った「窒素パージ破碎機」を保有しています。破碎処理中の破碎機内を窒素パージすることで酸素濃度を一定以下に抑えて爆発・火災を防止します。



本社工場



堺事業所

引火や爆発などのリスクがあり、処理が難しいスプレー缶。ダイカンでは独自に研究開発した「窒素パージ破碎機」を本社・堺事業所の2拠点に設置し、スプレー缶を安全に処理しています。窒素パージ破碎機を有する事業所は全国でもごくわずか。スプレー缶の使用・未使用にかかわらず、穴を開けずに回収して大量に処理できるため、多くの企業様や自治体様にご契約いただいています。



選別マテリアルリサイクルフロー



サポート/サービス

自社車両のご案内

収集運搬 関西圏で収集運搬業の許可を有しており、運搬から中間処理までの一括対応が可能です。また様々な回収容器で効率的な回収を行います。

▶ 自社車両一覧

名称	台数	全長	幅	高さ
2tコンテナ車	1台	4,330mm	1,690mm	1,970mm
2.95tパワーゲート車	1台	6,220mm	2,220mm	2,260mm
4tコンテナ車	10台	5,872mm	2,204mm	2,431mm
10tダンプ車	6台	10,663mm	2,492mm	3,375mm
軽貨物バン	1台	3,390mm	1,470mm	1,890mm

※車両サイズ・最大積載重量の詳細については担当営業にご確認ください



2tコンテナ車



2.95tパワーゲート車



4tコンテナ車



10tダンプ車



軽貨物バン

▶ 自社コンテナ種類一覧

名称	最大積載重量	最大積載容積	全長	幅	高さ
4m ³ コンテナ	1,500kg	4m ³	2,730mm	1,540mm	950mm
6m ³ コンテナ	2,500kg	6m ³	3,500mm	1,890mm	900mm
8m ³ コンテナ	2,500kg	8m ³	3,500mm	1,890mm	1,200mm
メッシュコンテナ	500kg	1m ³	1,200mm	1,000mm	760mm
カートコンテナ	400kg	1m ³	671mm	1,350mm	940mm

※コンテナの詳細仕様については担当営業にご確認ください

お客様へのサポート体制向上のための取り組み

東京オフィスの開設



東京オフィスでは、関東圏で廃棄物の一元管理を行っているお客様への迅速な対応、新規のお客様への対応力向上を目指しております。

廃棄物管理のサポート



廃棄物の削減・人件費削減・リサイクル率の向上等、様々な課題に対して、当社が管理窓口となって一括管理や場内作業を行い、お客様の問題解決をお手伝いします。

ネットワーク営業の提案

廃試薬・蛍光灯・その他特別管理産業廃棄物等、当社で処理ができない廃棄物についても、信頼できる処理業者を選定し、ネットワーク処理の提案が可能です。

電子 manifests の導入支援



事務の効率化、情報の透明性の観点から電子 manifests の導入は大変有効です。当社では導入から運用まで専門スタッフがサポートさせていただきます。

廃棄物講習会の実施



法改正の動向・廃棄物の社内教育研修等、お客様のご要望に応じて産業廃棄物講習会を行っています。

広域認定制度の認定補助

































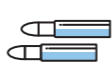




製造事業者様が広域的に自社製品の処理を行う「広域認定制度」の認定取得をサポートします。(サポート実績：ハウスメーカー・鉄道関連会社・産業ガス事業者)

危険物のご案内

事故防止とコンプライアンス遵守の取り組み

全国の廃棄物にかかわる事故のうち、ほとんどが下記危険物が原因で発生していると推測されております。当社では、排出事業者様への危険物混入防止の啓蒙活動や搬入物の展開検査等を行って、事故防止とコンプライアンスの遵守に努めています。

混入禁止物リスト

腐食性物質・有害物質 バッテリー  トランス  コンデンサ  液体バッテリー  エンジン  リチウム(イオン) 	乾電池類 乾電池  ボタン電池  充電式電池  リチウム電池  高圧ガス類 ライター、スプレー缶  ライター用補充ガス  カセットコンロ用ガス  ボンベ類 	消火器 消火器  ガスボンベ類  酸化性物質・毒物類 禁水性、自然発火性  硫化鉄  過酸化水素  有機過酸化物  シアン化合物  硫化ナトリウム 	シンナー 溶剤  油性塗料  引火性溶剤付着のウエス類  水銀灯 蛍光灯、体温計、水銀灯  家電リサイクル法対象物 エアコン  テレビ  冷蔵庫、冷凍庫  洗濯機、乾燥機 
火薬類 花火  クラッカー  弾薬  発煙筒  マッチ 	感染性廃棄物 注射器、脱脂綿など使用済みのもの 	引火性液体 (付着ウエス等含む) アルコール 	アスベスト PCB汚染物

その他火薬類

環境保全活動

ダイカンの環境保全活動

環境方針

- ① 当社の事業活動にかかわる環境影響を常に認識し、環境目的・目標を定めて定期的に見直し、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスの継続的改善を図ります。
- ② 環境関連法規制及びその他の要求事項を順守し、環境汚染の予防に努めます。
- ③ 事業活動における省エネルギー、省資源、リサイクルなどを推進します。



リサイクル

三田事業所 (サーマル・マテリアルリサイクル)



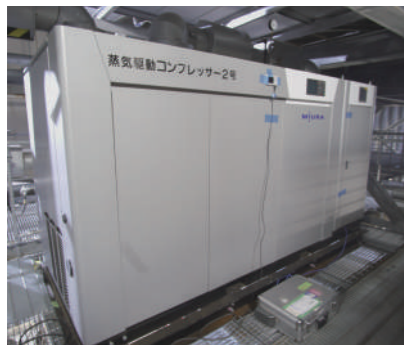
従来焼却していた廃プラスチック類についても選別を行い、プラフ燃料を製造。セメント・製紙会社様に代替燃料として使用されます。化石燃料の代替として使用することで、焼却処理と比較しCO₂排出量の削減にも貢献します。

堺事業所 (サーマルリサイクル)



堺事業所のプラントでは廃棄物を焼却処理する際に発生する余熱を利用し、蒸気でタービンを回して自家発電を行っています。発電能力は3,300kWhと高く、施設内の電力をまかなうほか、余剰電力は電力会社に売電。CO₂排出の抑制に大きく貢献しています。

施設・設備



堺事業所では従来は大気放出していた余熱蒸気を利用する蒸気駆動式コンプレッサを導入し、発電効率向上につなげました。

EV充電



三田事業所ではEV充電設備を導入。一部社用車としてPHV車を使用することで、排気ガスに含まれる環境汚染物質の発生を軽減します。

環境教育



小中学校・各種団体等のご依頼に応じて、環境やリサイクルについての教育や工場見学などを実施しています。

トップメッセージ

環境保全は、語る時代から、実現する時代へ。



株式会社ダイカン
代表取締役社長 吉村 太郎

2023年、株式会社ダイカンは設立50周年を迎えます。今日まで歩みつけてこられたのはひとえにお客様からの信頼と、社員及び関係各位の努力あってこそ。心から感謝を申し上げます。

弊社は1974年(昭和49年)に業界の中でいち早く大型の焼却炉を建設。それまで主流だった埋め立てから焼却処理へと、産業廃棄物処理のスタンダードを大きく変えることとなりました。設立以来、誠実に、法令遵守と適正処理を貫いてきたこと。その姿勢に共鳴し、全国の名だたる企業様が数十年にわたって産廃処理をお任せくださっていること。そのことが、私たちダイカンの何よりの誇りとなっています。

設立から50年の間に時代は昭和から平成、そして令和へ。この間グローバル化が進み、産業構造も大きく、また激しく変化しました。21世紀のスタートと前後して地球温暖化問題が顕在化し、産業界においても「エコ」「環境」が合言葉に。地球環境保全に取り組む姿勢が企業評価の重要な物差しになり、産廃処理業者へのニーズも再び大きく変わりました。ダイカンの新たな挑戦の始まりです。適正な焼却処理の技術を土台に、

サーマルリサイクルシステムをはじめとして、より環境に配慮した処理技術や処理プロセスの開発、さらに破碎・選別・リサイクル方法の確立へ。お客様の期待に応えるために全員で一歩ずつ前進してきたことが、今へとつながっています。

「地球環境を守る」「美しい未来をつくる」。これはもう、単なる合言葉ではありません。実現しなければならないミッションです。ミッションを果たすために必要なのは、言葉だけに終わらない、より具体的な行動や技術。私たちダイカンは現在、産廃処理のプロとしてお客様の課題解決に取り組むほか、業界ネットワークを生かしてリサイクルフローのご提案も行っています。また、新開設となる三田事業所では、焼却設備をあえて持たず、新たなリサイクルにチャレンジしていきます。

産廃処理はモノを生み出す事業ではありません。しかし、処理が進化すれば、未来への希望が生まれます。私たちダイカンは、お客様の事業の最終工程を担うアンカーマンという自負を持って、全員で知恵を出し合い、話し合い、お客様と並走して地球環境保全に貢献してまいります。



www.daikan-eco.co.jp